

## **JP2002102417**

Publication Title:

SLOT MACHINE TYPE GAME MACHINE

Abstract:

Abstract of JP2002102417

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To change the appearance by replacing minimum parts in a slot machine type game machine with built-in rotating drums. **SOLUTION:** The rotating drums (15a, 15b and 15c) of a drum unit (14) equipped on the back surface section are made to attend through a window (13) which is disposed on the upper half section of the front surface of a mechanism plate (2). Also, a receiving tray (16) for storage and members (21, 22, 23a and so forth) for operating the game are provided on the lower half section of the front surface of the mechanism plate. In the meantime, a picture frame shape front frame (3) is detachably and openably attached with a hinge to the front surface of the upper half section of the front surface of the mechanism plate (2) to cover the mechanism plate (2). In this case, the front frame (3) is equipped with displaying-decorating means such as display lamps (27 and 28) and a decorative lamp (29). Then, when required, the front frame (3) alone is removed by disengaging the attachment by the hinge, and the front frame (3) can be removed and replaced.

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

-----  
Courtesy of <http://v3.espacenet.com>

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-102417

(P2002-102417A)

(43)公開日 平成14年4月9日(2002.4.9)

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

A 6 3 F 5/04

識別記号

5 1 2

F I

A 6 3 F 5/04

テーマコード\*(参考)

5 1 2 C

審査請求 有 請求項の数2 O L (全 7 頁)

(21)出願番号 特願2000-302609(P2000-302609)

(22)出願日 平成12年10月2日(2000.10.2)

(71)出願人 000154679

株式会社平和

群馬県桐生市広沢町2丁目3014番地の8

(72)発明者 中嶋 正

群馬県桐生市広沢町二丁目3014番地の8

株式会社平和内

(72)発明者 柳 漢呉

群馬県桐生市広沢町二丁目3014番地の8

株式会社平和内

(74)代理人 100070286

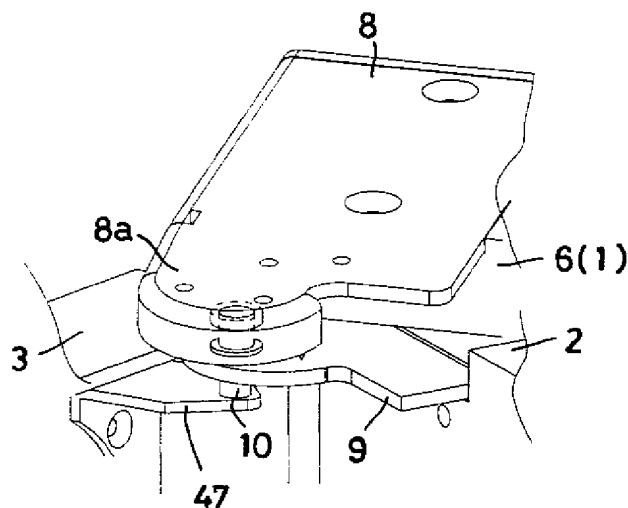
弁理士 中山 伸治

(54)【発明の名称】 スロットマシン型遊技機

(57)【要約】

【解決課題】 回転ドラムを内蔵してなるスロットマシン型遊技機において最小限の部品の交換によって外観を変更できるようにすること。

【解決手段】 機構板(2)の前面上半部に開設する窓(13)を通して背面部に装備するドラムユニット(14)の回転ドラム(15a, 15b, 15c)を臨ませ、また該機構板の前面下半部に貯留用受皿(16)と遊技操作部材(21, 22, 23a, …)を装備し、その一方前記機構板(2)の前面上半部の前面には表示ランプ(27, 28)、装飾ランプ(29)等の表示装飾手段を備えた額縁形の前枠(3)を一側縁において着脱且つ開閉自由に螺着して被覆し、必要に応じて前記螺着を解いて前記前枠(3)のみを取外し交換可能にする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 取付用固定枠となる外枠の一側縁部に機構板を開閉自由に蝶着し、該機構板の背面部にドラムユニットを装備して板の上半部中央部に開設する窓を通して内装する回転ドラムを前面に向け臨ませると共に、該機構板の前面部下半部には球の貯留用受皿と遊技作用部材を装備し、その一方前記機構板の前面部上半部には表示ランプ、装飾ランプ等の表示装飾手段を備えた額縁形の前枠を開閉自由に蝶着支持して前記機構板の前面部上半部を被覆すると共に該前枠中央部の透視窓を通して前記回転ドラムを視覚可能にすることを特徴としたスロットマシン型遊技機。

【請求項2】 請求項1の記載において、前枠は機構板の一側縁部に対して着脱自由に蝶着支持してなることを特徴としたスロットマシン型遊技機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、遊技媒体としてパチンコ球を使用するスロットマシン型の遊技機に関する。

【0002】

【従来の技術】スロットマシンは、知られるように所定のコインを投入して賭け率を決めたのち、レバー或いはボタンを操作して3個の回転ドラム（若しくはリール）を同時に回転させ、次にこれらの回転ドラムを次々に停止させて、各ドラムが停止した時点でその周面に表示した絵柄や数字（以下図柄という。）が予め定めたもの同士で揃ったとき役の成立があったもの（「当り」）として所定の景品（コイン）を遊技者に払い出すものとなっている。

【0003】このスロットマシンにおいて使用されるコインに代えてパチンコ球を投入し、当りとなったときその景品として同じくパチンコ球を払い出すスロットマシンとパチンコ機を合体したようなスロットマシン型の遊技機（以下単に遊技機と称する。）が開発され実用化されている。この遊技機は遊技の主体をスロットマシンとするもので、回転させたドラムの停止時にその周面に表示した図柄が予め定めるもの同士が揃ったとき「当り」とする一方、遊技の開始、そして当りに伴う景品の払出しにパチンコ機と同様にパチンコ球を使用するものである。

【0004】このため、この遊技機は基本的にはスロットマシンの機構を中心にして構成されており、遊技の開始、景品の放出となるコインの処理に係わる部分についてパチンコ機のパチンコ球処理の機構が採用されるものとなっている。

【0005】この様に遊技機、即ちスロットマシン型の遊技機は基本的にスロットマシンを基礎としていることから主要な内部機構も、又外観的構成もスロットマシンに似たものとなっている。この様なことからこの

遊技機はパチンコ機の様に外観の変化を求めるために遊技盤を変換して模様替えすることができず、この様な場合には遊技機全体を入れ替える必要があった。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上述の状況に鑑み遊技機前面の外観上主要部となる表示部分について独立した構成体とし、これを遊技機本体部分について着脱自由に装着するようにして、遊技機の模様替え等、変更を要するときには該表示部分についてのみ交換して遊技機全体の外観印象を変えるようにした遊技機を提供しようとするものである。

【0007】パチンコ機における遊技盤は前枠に装着するガラス板を透してその略全貌が視覚されるものとなっており、この遊技盤面を落下するパチンコ球、そしてこのパチンコ球が入賞装置に入賞する状態を見届けること等によって遊技を楽しむものとなっている。

【0008】しかし、スロットマシン型遊技機にあっては遊技盤に相当するものはなく、遊技の設定表示や、当り状態の表示、その他の装飾表示は全て遊技機前面のカバーを兼用する前面枠体に装備されている。このため前記遊技盤と同様に扱うにはこの前面枠体をそっくり外し交換しなければならず、技術的な処理が厄介であると共に、不経済となる問題がある。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明は遊技機における基本的構成体を複数に分割し、各分割独立した構成体部分に遊技機に必要な機構部分を個別に装備し、前記構成体部分の組合せによって各機構部分相互の連結をなし、以て遊技機を完成するものとしたもので、この基本的構成体を複数に分割することによって前記機構部分を個別に装備することにより、その機構部分の個別の交換を可能とし、これによって最も表示効果、装飾効果の高い遊技機前面部の表示部分のみの取替え交換を可能としたのである。

【0010】本発明を更に詳述すると、その特徴とするところは取付用固定枠となる外枠の一側縁部に機構板を開閉自由に蝶着し、該機構板の背面部にドラムユニットを装備して板の上半部中央部に開設する窓を通して内装する回転ドラムを前面側に臨ませると共に、該機構板の前面部下半部には球の貯留用受皿と遊技作用部材を装備し、その一方前記機構板の前面部上半部には一側縁部に表示ランプや装飾ランプ等の表示装飾手段を備えた額縁形の前枠を開閉自由に蝶着支持し、前記機構板の前面部上半部を被覆すると共に、該前枠中央部の透視窓を通して前記回転ドラムを視覚可能にすることを特徴としたスロットマシン型遊技機を提供することにある。

【0011】また本発明は、前記前枠は機構板の一側縁部に対して着脱自由に蝶着支持することを特徴としたスロットマシン型遊技機を提供することにある。次に、本発明を図示する実施例について詳述し、その特徴とす

るところを明らかにする。

【0012】

【発明の実施の形態】

【実施例1】図1は本発明に係るスロットマシン型遊技機の正面図で、図2は同じく斜視図、図3は右側面図であり、図4は各枠を開放して内部を明らかにした斜視図である。図面において1は遊技機を遊技場内に設置する際に取付枠となる外枠であって、2は遊技機の重要な機構部品を装備する機構板、3は遊技機前面の表示部を形成する前枠である。

【0013】外枠1は左右の縦材4、5と上下の横材6、7を組んで縦長の長方形枠に組立てあり、各縦横の材が衝き合うコーナー部には補強の連結金具8が添わせてある。

【0014】機構板2はやゝ肉厚の合板によって形成されており、前記外枠1の前面開口部の内周に嵌り込む大きさに形成されている。この機構板2は外枠1の左方上部のコーナー部に添寄せた前記連結金具8に設ける軸受片8aに左方上端に設ける枢着片9の支軸10を軸承させ、また左方下端に設ける支軸11を外枠1の左方下部に突設する軸受片12に軸承させて連結支持されており、これら上下の支軸10、11を支点にして回動し、外枠1に対して開閉が自由になっている。

【0015】そして、この機構板2は上半部2aの略中央部に窓13を開設し、背面に装備するドラムユニット14で背後から塞ぐとともに、該ユニット内に回転自由に軸装する3つの回転ドラム15a、15b、15cをこの窓13を通して前面側から覗けるようにしてある。

【0016】一方、機構板2の前面部下半部2bには投入するパチンコ球を貯留する貯留用受皿となる上皿16と、溢れ球或いは球抜きの際落とす下皿17が各前方に突き出るように上下に段設され、又上皿16の前縁部には横一列に並べて遊技を操作する操作部材となるレバー及びボタンが配列される。

【0017】上記上皿16と下皿17はこの実施例では機構板2の前面に一体に固着しており、上皿16には遊技者が投入するパチンコ球と放出口18を通して図示しない賞球装置から放出される景品球たるパチンコ球とが貯留可能になっており、上記賞球装置には貯留タンク19からパチンコ球が供給されるようになっており、尚、賞球装置を含む賞球供給設備については図6に示す第2の実施例の説明の中で説明することにする。

【0018】下皿17は上方の上皿16と図示しない樋によって繋がっており、多くの景品球を受けたとき、或いは遊技を終了したとき、この樋を通して落とされ、皿の底部に設ける球抜き穴20を塞ぐゲートを開くことによって抜き取ることができるようにしてある。

【0019】上記上皿16に配列される操作部材たるレバー及びボタンについて説明すると、左端のレバー21は投入用レバーであり、その右隣りのボタン22はス

タートボタン、更に23a、23b、23cは前記回転ドラム15a、15b、15cに各対応させて配列させた停止ボタンであり、24はクレジットボタン、25は返却ボタンである。

【0020】投入レバー21はコインに代わるパチンコ球を投入し、遊技の開始を可能にすると共に、賭け率を設定するもので、この実施例では1回のレバー操作で1単位とする5個のパチンコ球を前記上皿16から図示しない取込装置に送り込めるようにしてある。そして、2単位を投入する場合には2回のレバー操作を、3単位の場合には3回のレバー操作をして各回毎5個のパチンコ球を投入し取込めるようにしてある。

【0021】尚、ここでの5個を1単位とする投入は1個のコインの価値に引き当てたものであって、1回のレバー操作は1個のコインに、2回の操作は2個の、そして3回のレバー操作は3個のコインの投入に相当するものにしてある。そして、この1回のレバー操作は後述する前枠3の表示部に表すライン表示の1つを選択し、2回の操作は同じくライン表示の3つを選択し、更に3回の操作は5つのライン表示全部を選択するものとしてある。

【0022】回転ドラム15a、15b、15cはドラムケース26の中に各回転軸の軸心を横一列に一致させて配置され、それぞれは個別のモータを備えて前記スタートボタン22が押圧操作されたとき個別に、且つ一斉に回転を開始するようにしてある。

【0023】一方、これらの回転ドラムは、先ず停止ボタン23aが押されたときドラム15aが、次に停止ボタン23bが押されたときドラム15bが、そして停止ボタン23cが押されたとき回転ドラム15cが、それぞれ個別に停止するようになっている。そして、各回転ドラムの周面に配列表示した図柄（図示せず）が予め定める状態に揃ったとき（後述するライン表示上に所定の図柄が揃ったとき）、これを「当り」として景品球たる所定個数のパチンコ球を放出するように構成してある。

【0024】前枠3は合成樹脂を素材にして本体形状を略額縁形に形成し、前面部の上縁部には複数個の表示灯27…、28が、そして左右の縁部には縦長の内部にランプを内蔵する飾りランプケース29、29が装備され、これらに囲まれる中央部には表示板30が装着される。

【0025】表示板30は図1、図2に示されるように前記機構板2の窓13から覗く3つの回転ドラム15a、15b、15cに対面する部分31が透明にしてあり、これら回転ドラムが前枠の前面から視認できるようにしてある。そして、この透明部分31は各ドラム周面に表示する図柄の3個分が露出する広さに形成してあり、その中央部とその上下には並行させて3本のライン表示32と、ライン表示33a、33bを施し、更に上記ライン表示32の中央部分で交錯する2本の傾斜する

ライン表示34a, 34bが施してある。

【0026】ライン表示32, 33a, 33b, 34a, 34bは投入レバー21の操作に連動して選択され、賭け率が表示されるもので、投入レバー21が1回操作されると、つまり1単位分のパチンコ球5個が投入されると、ラインの端部に備えた表示ランプ35が点灯し、また2回操作されると上記表示ランプ35に加えてその上下の表示ランプ36a, 36bが点灯する。そして3回のレバー操作がされると交錯状に配したライン表示34a, 34bの各表示ランプ37a, 37bが点灯し、これにより全てのライン表示が選択されることになる。

【0027】つまり、表示ランプ35が点灯することはそのライン表示32上に3個の回転ドラム上に表示した予め定める図柄が揃って並び「当り」となることを表すものであり、また表示ランプ36a, 36bが点灯することは更にライン表示33a, 33b上で図柄が揃ったとき「当り」となることを表すことになる。従って、ここでは1単位の投入に対して、投入レバー21を2回操作して2単位投入した場合には3本のライン表示32, 33a, 33bが選択されることとなり、当りの確率が3倍となり、更に3単位の投入があった場合には5本のライン表示の全部が選択されることとなり、その結果5倍の確率になることを表示することになる。

【0028】38a, 38b, 38cは回転ドラム15a, 15b, 15cのそれぞれの回転状態を表示するランプで、39, 40は遊技状態を表示するランプ、41は効果音を発するスピーカーである。そして、42は表示灯27のランプを装着するランプ基板であり、43は同じく表示灯28のランプ基板、44, 44は左右に縦に配置される各表示ランプ35, 36a, 36b, 37a, 37bのランプ基板である。

【0029】上記各ランプ基板42, 43, 44はそれぞれコード45を介して機構板2の背面下半部に設けられる制御回路基板46に接続し、パチンコ球の投入がありライン表示が選択されたとき、回転ドラムの停止によって図柄が揃い当りが発生したとき等、それぞれにおいてランプを点灯し表示するものとしている。

【0030】この前枠3は機構板2の前面上半部と同一の大きさに形成され、左側縁部の上端に形成する枢着片47を前記機構板2の枢着片9に備える支軸10に軸着し、他方下端に設ける枢着片48を上皿16の左端に形成する軸受孔49に支軸50を介して軸着することによってこの2つの支軸10, 50を支点にして開閉自由に取付き、閉塞時には機構板2の前面上半部を被い、表示部30で窓13に臨む各回転ドラム15a, 15b, 15cの前面を被うことになる。

【0031】この前枠3の取付けは、枢着片9の下面から突き出る支軸10の下端を枢着片47に設ける孔(図示せず)に突き入れ軸着させたのち、前枠3の下端を上

皿16の上に乗せるように押し入れてこれに設ける枢着片48の孔51と上皿16に設ける軸受孔49とを一致させ、支軸50を挿通することによって行うことができ、また逆の手順で支軸50を抜き取り、次に前枠3を下げて枢着片47の軸孔に嵌入する支軸10を外せば、機構板2から取り外すことができる。

【0032】尚、図示しないが、外枠1に対して開閉自由に蝶着した機構板2、そしてこの機構板2に同じく支軸を介して開閉自由に軸着した前枠3は閉塞したとき任意に開放されないようにロック装置により施錠拘束しておくことはスロットマシン、乃至パチンコ機におけると同様であり、説明するまでもないであろう。

【0033】第1の実施例における本発明遊技機は上述の如く構成されるもので、使用に際しては先ず上皿16にパチンコ球を投入して準備し、次に投入レバー21を操作して希望する単位数のパチンコ球を上皿16から機構板2に備える図示しない取込み装置に送り込み、この操作によって賭け率を選択し、同時にこれを表示ランプ35, 36a, 36b等を点灯して表示させることになる。

【0034】次にスタートボタン22を操作して回転ドラム15a, 15b, 15cを一斉に回転させる。そうしたのち、停止ボタン23a, 23b, 23cを任意の順番で押し、個々にドラムの回転を止め、このとき予め選択したライン表示32, 33a, 33b…上で予め定める図柄の一致があったとき、当りとし、この当りに対して定めた景品球を賞球装置を通して放出させるのである。放出された球は放出口18を通して上皿16に排出され、再び投入球として利用されることになる。

【0035】この一連の遊技操作の中にあって回転するドラム15a, 15b, 15cは前枠3の表示部30に設ける透明部分31を通して覗かれ、また賭け率の選択は表示ランプ35…によって表示され、当りは前枠3の前面に備える表示ランプ27, 28によって、またスピーカー41によって表示されることになる。

【0036】この様に遊技において使用されるパチンコ球は上皿16を通して機構板2に備える取込み装置に取り込まれ、また当りに対して放出される景品球は機構板背面の貯留タンク19に貯留され、更に賞球装置を通して前記上皿へと放出されるものとなる。

【0037】その一方、遊技の設定、進行、当り等の表示は前述のように前枠3において行われ、その前面部に備える表示ランプの点灯により、また表示部の透明部分31に現れる回転ドラム等によって表現されることになり、またこの前枠前面に備える装飾ランプ29がこれらに加わって装飾効果を高めるものとなる。

【0038】以上のことから明らかな様に、本発明遊技機は遊技機本体を構成する機構部分を全て機構板2に装備し、遊技に伴う表示、つまり表示ランプ等の表示手段や装飾設備を前枠3に装備して、分担する構造としたこ

とから、前枠3を交換すると遊技機として全く異なる外観を呈することとなり、新規の遊技機に変貌することになる。

【0039】又この前枠3の交換は遊技の設定の変更にも対応することができるもので、例えば表示部30のライン表示を変更することで回転ドラムの当りの組合せの変更に対応させることができることになる。

【0040】勿論、前枠3は機構板2に対して独立したものとして構成されることから分離が可能であると共に、前記実施例では支軸50を抜いて上部の支軸10から枢着片47を外せば枢着状態を解除できるので容易に取り外し、他の前枠と入れ替えることができる。

【0041】

【実施例2】図6は本発明に係る遊技機の第2の実施例を示したものである。図6には外枠1から開放した機構板2の背面部が露出するようにしてドラムケース26の全体を表すと共に遊技制御回路基板46を収容するケースと前記第1の実施例では説明しなかった賞球装置52を表している。尚、本実施例では、前記第1の実施例と同一の部所については同一の符号を使用してその説明を省略した。

【0042】この実施例における1つの特徴は、貯留タンク19と賞球装置52を外枠1に取付けるようにしたことである。前記第1の実施例では賞球装置を機構板2の背面部に貯留タンク19と共に装備するものとしたが、ここでは外枠1の上部に横設する棧53に貯留タンクを支持し、これより延設される供給樋54を中間の棧55に支持させてその下端を賞球装置52に接続させている。

【0043】賞球装置は前記「当り」に基づき制御回路基板46からの賞球放出指令を受けたとき、所定数の景品球たるパチンコ球を放出することになる。放出景品球は放出樋56を通して下端の接続口部57に落とされ、この口部を介して機構板2の前面部に設けられる上皿16の放出口18に誘導放出されることになる。

【0044】図中、58は機構板2を閉じたとき前記接続口部57と連結する受け口であり、嵌め合せによって連通するようにしてある。そして、59は貯留タンク内の球を抜き取る場合に使用される球抜き樋である。

【0045】前記貯留タンク19、賞球装置52、そしてこれらを接続する樋54、56からなる賞球系統の諸装置は本実施例のように外枠1に備えても、又第1の実施例のように機構板2の背面部に備えてもよい。勿論、その取付部所が異なることに伴って構造上の利点に相違が生ずるが、外枠側に装備した場合には機構板2の構造がその分簡潔になり、機構部品の装備やその保守点検が容易になる。

【0046】その一方、機構板側に装備した場合は、遊技機本体の機構部品と賞球系統の諸装置が一体となり関連付けられる結果、連絡のための手段が不要となると共

に、外枠1と機構板2の関係が単純化し、外枠は単なる取付けのための枠体であってもよいものとなり、自由に組合せが変えられることになる。

【0047】

【発明の効果】本発明を実施例に基づき説明したが、前記構成から明らかな様に、遊技機の外観を決定することになる表示部、表示ランプ、装飾ランプ等の表示装飾手段を前枠に集め、この前枠を機構部品類を装備する機構板の前面部上半部に開閉自由に、また着脱自由に取付けるものとしたことから、取り替えによって遊技機の外観を容易に変更することが可能であり、簡単に模様替えができることになる。

【0048】また前述の様に機構板に対して前枠を自由に開放できる構造にしてあることから、表示ランプや装飾ランプの交換、ランプ基板の点検等が容易に行え、更にはドラムユニットの前面を開放して回転ドラム等の保守が行えるため、これらの作業を容易にする利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る遊技機の正面図。

【図2】遊技機の斜面図。

【図3】遊技機の右側面図。

【図4】外枠の前方に向けて機構板と前枠を開放した状態を示す斜視図。

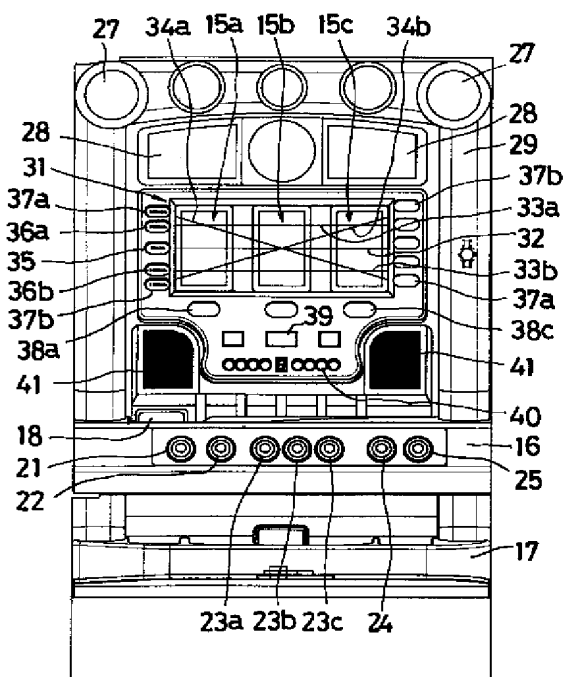
【図5】外枠と機構板及び前枠の枢着を説明する部分の拡大斜視図。

【図6】第2の実施例を示す機構板と前枠を開放した状態を示す斜視図である。

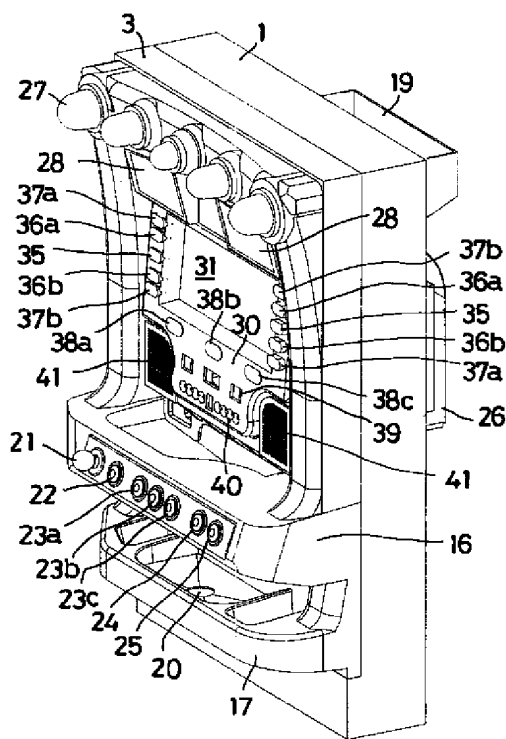
【符号の説明】

1	外枠
2	機構板
3	前枠
10, 11, 50	支軸
14	ドラムユニット
15a, 15b, 15c	回転ドラム
16	上皿
17	下皿
19	貯留タンク
21	投入レバー
22	スタートボタン
23a, 23b, 23c	停止ボタン
24	クレジットボタン
25	返却ボタン
27, 28	表示ランプ
29	装飾ランプケース
30	表示部
31	透明部分
32, 33a, 33b, 34a, 34b	ライン表示
35, 36a, 36b, 37a, 37b	表示ランプ
46	制御回路基板

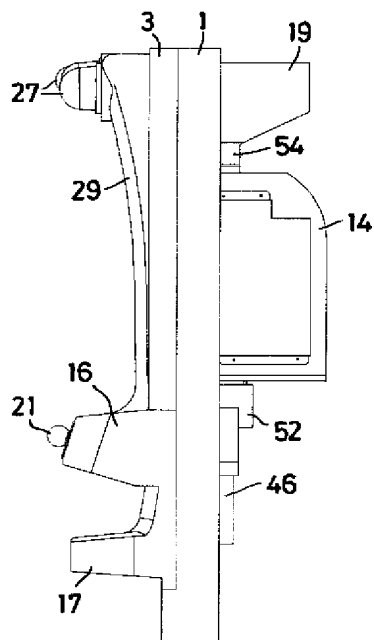
【図1】



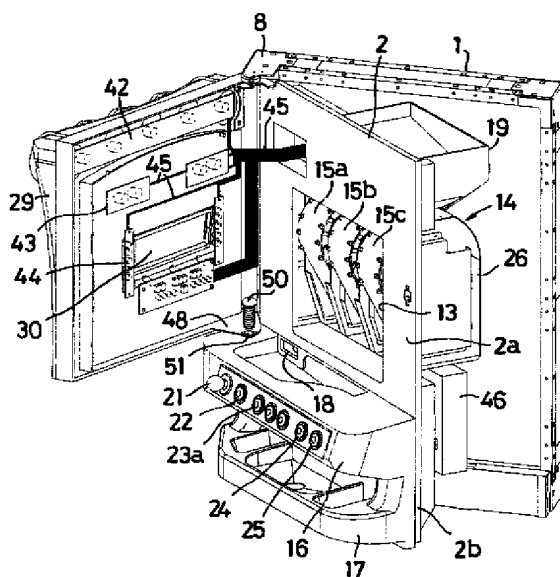
【図2】



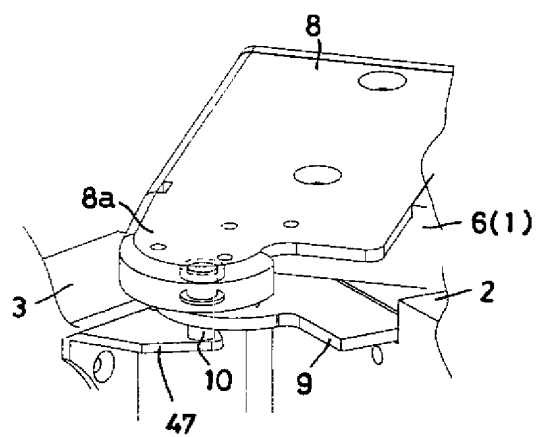
【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

